

南予地域柑橘農業復興対策チーム第7回会議の内容

平成30年12月18日(火)10:30~
南予地方局7階大会議室

1 短期的復旧対策について

(1) 今季収穫作業の対応

○県

◇モノレールの修復状況(11/21~12/12までの復旧状況)

- ・宇和島地区は、中生温州の収穫が最盛期を迎えたことで農家自力施工班の活動が緩やかとなっているため、伸び率が鈍化したものの59.3%から62.8%まで復旧。
- ・八幡浜地区は、29.1%から36.0%まで復旧
- ・東宇和地区は、順調に作業が進んだことから36.7%から64.0%まで復旧

◇アルバイト確保状況

- ・11月から3月末までに必要な労働力として、21戸の農家ら延べ3,844人の求人要望あり。報道などの効果で問い合わせが増加し、2月中旬まで必要人数をほぼ確保できている。引き続き、労働力確保に努める。

人力による運搬に危険が伴う園地における、補助事業を活用した索道による運搬の取り組みを紹介。要望があれば他の園地での実施も支援していく。

○JAえひめ南

収穫の状況について12月18日現在、極早生が2,999t(前年比85%、出荷計画比97%)、早生温州が4,802t(前年比114%、計画比107%)、中生温州が2,914t)。なお、中生温州は最終的に計画量3,605tを上回る4,000t程度の収穫を見込んでいる。

アルバイトの新たな宿泊先として、民間マンション1棟(30部屋分)を借り上げ、すでに確保している施設と合わせて農家の希望人数分の宿泊先を確保。

○JAひがしうわ

モノレールの復旧68%。資材が不足しており、少し時間がかかる見込み。

収穫状況は、豪雨災害を受け計画を20%下方修正し、計画量は達成する見込み。(12/18時点)

アルバイトの確保については、共選場が農家を33名雇用し、園地での運搬作業に従事しているほか、農家の要望に応じアルバイトも学生6名、一般7名を確保。

○県(農産園芸課)

収穫もある程度進んでおり安心している。アルバイトの確保については、愛南町の農家さんの支援について、メディアに取り上げられたことが契機となって募集が増加、報道機関の皆様にお礼を申し上げたい。

(2) 販売支援の状況

○県(産地単独各推進室)

JAえひめ南と連携した「宇和島がんばるみかん」の特別販売は、12月12日時点で19.3tと当初の目標の20tを大きく上回る見込み。

○JAえひめ南

「宇和島がんばるみかん」等の販売支援により被災柑橘農家の所得につながっていることは改めて感謝。

2 中長期対策について

(1) 災害復旧事業の状況について

○宇和島市

全 650 件のうち、現在 600 件の災害査定が終了。残りも年内に完了する見込み。

うち 9 割の 600 件余りが吉田地区で樹園地や畑灌施設の被害。

工事にあたっては、簡素化設計書により査定を受けているため、現地測量後、実施設計書を作成して発注することとしている。

3か年を目標に復旧工事に取り組む。また、県営事業により整備した畑灌施設、南予用水は県に工事をお願いしている。

○西予市

公共災全 300 件のうち、現在 73%について災害査定が終了。残りも年内に終了予定。

モノレールの復旧については、公共災、市単独、経営体育成支援事業の3事業に仕分けし、公共災の査定は終了。一部、メーカーの機関車(エンジン部分)の製造に時間を要するため作業が長引くと推測している。

農家から、新植や改植の目途をつけるため、災害復旧スケジュールの提示や無収益期間の補償に関する要望が出ており、対応を検討しているところ。

農地、農道、園地内の排水路等の復旧については箇所数も多いことから、地域と連携をしながら発注の順番等を検討して早期復旧に努める。

○県(農村整備課)

吉田町の南予用水施設は、現在、排水槽 56 か所(全体 57 か所)とスプリンクラー56%が利用可能であり、今後、宇和島市から県への受託工事により残り 1 か所の排水槽への通水とスプリンクラーの稼働率向上に努める。

前回会議で懸念が示されたスプリンクラー業者の不足については、施工業者が地元農家を雇用することで作業効率などが向上した過去の事例を紹介し、今後の対応の参考としていくこととした。

(2) 農地復旧モデル計画策定事業

○県

12月21日に白浦地区で地元説明会を開催し、整備構想図を示すほか、地元意向確認の方法等についても確認していくこととしている。

残りのか所についても、地元と日程調整を行い順次説明会を実施する。

○玉津(深浦、法華津、白浦 12/21)

○立間(小名、白井谷)

○喜佐方(沖村、河内)

3 その他

○県(産地戦略推進室)

吉田町玉津の若手農家による柑橘復興に向けた農業法人「玉津柑橘倶楽部」が 12 月中に設立されることを報告

○宇和島市

今回はボランティアやアルバイトによる効果が大きかったので、来季についても労働力確保策の検討を進める。